

議第9号議案

保険証廃止・改定マイナンバー法の運用をやめ、立ち止まって検証することを求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和5年6月19日提出

提出者	新座市議会議員	嶋田	好枝
賛成者	//	笠原	進
	//	高邑	朋矢
	//	石島	陽子
	//	小野	大輔
	//	黒田	実樹
	//	小野	由美子

提 案 理 由

保険証の廃止、マイナンバーの活用に国民の多くが不安を感じている。国民の不安を解消するために運用をやめ、立ち止まってトラブルの原因を解明し、検証することを求めるため、この案を提出する。

保険証廃止・改定マイナンバー法の運用をやめ、立ち止まって検証することを求める意見書

健康保険証の廃止などを定めた改定マイナンバー法が国会で成立した後もマイナンバーカードを巡るトラブルが次々に明らかになっています。保険証の誤登録は命を危うくしかねない重大な問題です。

新聞各紙は「マイナ保険証の見直しは、今からでも遅くはない。トラブルの原因を解明し、再発防止に努めるのが先決だ」（「読売」6月7日社説）、「マイナ保険証『一本化』強行許されぬ」（「朝日」6月9日社説）、「混乱続くマイナカード拙速排し立ち止まる時だ」（「毎日」6月9日社説）など、立ち止まって検証することを求めています。

マイナンバーカードに別人の保険情報が登録されていた事例は、厚生労働省によると、7,300件以上確認されています。

マイナンバーカードの保有者が健康保険証としての利用に同意していないのに利用登録されていたケースも判明しました。

マイナンバーと公金受取口座をひもづける制度では、本人ではなく家族の別の人の口座が登録されていた事例があったことが明らかにされました。行政機関などからの給付金が本人に届かない恐れがあります。改定マイナンバー法には、公金受取口座とマイナンバーのひもづけを促進する条項が含まれています。

政府はこれらのトラブルを2月までに把握しながら、公表したのは、改定法案が衆議院で可決された4月27日以降でした。審議への影響を恐れて、衆議院通過まで隠していた疑いが濃厚です。政府の責任は重大です。

6月4日に報じられたJNNの世論調査ではマイナンバーの活用に不安を感じているとの回答が72%を占めました。朝日新聞が5月末に行った世論調査では保険証との一体化に55%が反対しました。

以上のことから、以下のことを求めます。

保険証廃止・改定マイナンバー法の運用をやめ、問題をすべて究明し、立ち止まって検証すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出いたします。

令和5年6月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様
厚生労働大臣 様